

質問に対する回答

工事名) 東北支社管内 遠方監視制御設備更新工事

質問事項と回答

No.	質問内容	回答
1	<p>【特記仕様書】1-29 追加工事等</p> <p>小野 I C の遠方監視制御設備更新工事が追加される場合があるとの記載があるが、追加される場合の想定される時期はいつか。</p>	<p>令和 4 年 4 月～6 月頃を予定しています。</p>
2	<p>【特記仕様書】3-3-1-4 子局～主機間インタフェース (監視制御盤)</p> <p>渡戸 T N 及び合戸 T N のインタフェース方法が記載されていない。また、好間 T N 及び大久 T N は HDLC とあるがモデムインタフェースか RS422 インタフェースのどちらか。</p>	<p>合戸 T N、渡戸 T N の監視制御盤は遠方監視制御設備に取り込まれていないため、インタフェースは不要です。</p> <p>好間 T N、大久 T N のインタフェースは RS422 です。</p>
3	<p>【特記仕様書】3-3-1-7 トランスデューサ</p> <p>福島 T N 遠方監視制御設備内に必要なトランスデューサの台数について、受配電設備と自家発電設備用に交流電流用で 2 台、交流電圧用で 2 台の計 4 台の実装を想定すればよいか。</p>	<p>受配電設備用と自家発電設備用に交流電流用 2 台、交流電圧用 2 台の計 4 台の実装です。</p>
4	<p>【特記仕様書】3-4-1 IP モデム (SHDSL モデム)</p> <p>(1) 入出力部 2) LAN 用ポート</p> <p>LAN 用ポートの仕様が「10/100/1000Base-TX」となっている。SHDSL モデムの特性として DSL 側の速度が数 Mbps ないため、LAN ポートの仕様が「10/100Base-TX」であれば運用には問題が無いことから「1000Base-TX」は不要であると考えられる。このため、LAN 用ポートの仕様を「10/100Base-TX」に変更しても問題ないか。</p> <p>また、1000Base-TX 性能が必要な場合は想定されている IP モデムを教授願いたい。(1000Base-TX の IP モデムが見つからない。)</p>	<p>「10/100Base-TX」で問題ありません。</p>

No.	質問内容	回答
5	<p>【特記仕様書】3-4-2 メディアコンバータ (1) 入出力部 1) LAN 用ポート</p> <p>LAN 用ポートの仕様が「10/100/1000Base-TX」となっているが、「1000Base-T」の間違いではないか。</p> <p>1000Base-TX で使用する LAN ケーブルは Cat6 以上の性能が必要であり、「1000Base-T」と「1000Base-TX」の機種に互換性はない。</p>	<p>「1000Base-T」で問題ありません。</p>
6	<p>【設計図】</p> <p>白河 I C、鏡石 P A、須賀川 I C、郡山南 I C、三春 P A、五百川 P A の新遠方監視制御装置（縮小型）の構造について</p> <p>白河 I C、鏡石 P A、須賀川 I C、郡山南 I C、三春 P A、五百川 P A の既設子局は旧機電通仕第 98209 号で製作された IG 遠制装置（縮小型）で、筐体内部に VDF 端子台を有しているものと考えられる。また、新「遠方監視制御装置（縮小型）標準仕様書 施仕第 21210-2 号」には VDF 端子台の実装は求められていない。</p> <p>上記 6 箇所の設計図では中継端子盤・VDF の記載が無いので、遠方監視制御装置と主機側が直接ケーブルで接続される事になり、納入後の保守作業がし難くなると考えられる。</p> <p>以上の対策として、新遠方監視制御装置（縮小型）の筐体内部に VDF 端子を取付けられる構造とする必要があるか。</p>	<p>筐体内部に VDF 端子を取付けられる構造としてください。</p>
7	<p>【設計図】</p> <p>郡山南 I C、五百川 P A の伝送路（LAN）について</p> <p>郡山南 I C、五百川 P A の遠制伝送路（LAN）に屋外が含まれている。LAN ケーブルが屋外を通過する場合は誘導雷対策として LAN 用 SPD の設置が両端に必要との認識でよいか。</p>	<p>見積は設計図通りとしてください。LAN 用 SPD が必要な場合は、監督員と協議の上、契約変更の対象とします。</p>

No.	質問内容	回答
8	<p>【設計図】 共通 01 遠方監視制御設備機器姿図 (参考図)</p> <p>記載内容が新機器姿図 (参考図) ではなく、既設撤去機器姿図のように思われる。</p> <p>該当ページの「記事」に記載されている事項に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 筐体材質は「鋼板製 板厚 2.3 t 以上」とする。</li> <li>② 扉を開けずに運転状態が確認可能な仕様とする。</li> </ul> <p>とあるが、新機器姿図でも上記事項を準拠する必要はあるか。</p>	<p>既設撤去機器姿図ではありません。参考図に基づいて製作してください。</p>
9	<p>工期は 840 日間ですが、工事の進捗状況に応じて工期を短縮することは可能か。</p>	<p>可能です。</p>